

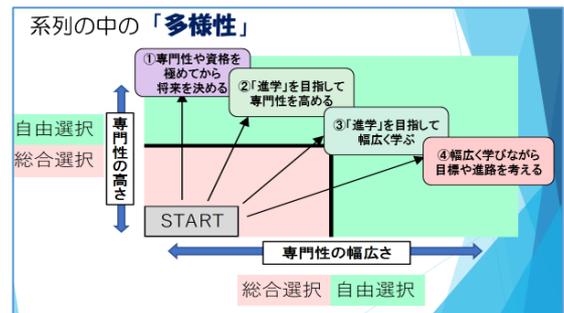
『邇摩高校グランドデザイン』を策定しました

来年度（令和4年度）から新しい学習指導要領が実施されます。今回の主な改訂の方向性は、次のとおりです。まず、新しい時代に必要となる資質・能力の育成として、①生きて働く『知識・技能』の習得、②未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力』の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性』の涵養の3つが柱となります。そしてそれらの資質・能力を育成していくためにどのように学ぶかという点、『主体的・対話的で深い学び』の実現により生涯にわたって能動的に学び続けられるようにすることが求められています。また、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の作り手となるために必要な資質・能力を育む観点から『社会に開かれた教育課程』を実現することとあります。

島根県教育委員会ではこの改定を踏まえ、全ての公立高校において、『育てる生徒像』、『教育課程編成・実施の方針』、『求める生徒像』の3つの方針をわかりやすく図に示したグランドデザインを策定することとしました。これを受け本校でも『邇摩高校グランドデザイン』を策定しました。詳細は、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

来年度からの大きな変更点は、系列の再編成とそれに伴う教育課程です。今までの『農業、ビジネス、生活、福祉、文化』の5系列を『農業とくらし、みらいビジネス、食とこども、ひとと福祉』の4系列に再編成します。そして文化系列で行ってきた大学への進学対応は、どの系列に属していても可能となる

カリキュラムとしました。右の図に示したように就職、進学いずれにも対応できる多様性を重視したものとします。総合選択科目には、各系列の基幹となる科目を置き、自由選択科目には系列の専門科目の他に進学に対応した普通科目、そして地域性や興味関心に応じた幅広い科目を置き、自分の進路や興味関心に応じて選択できるようにしました。例えば、農業、商業、福祉、保育といった系列の専門性を生かした進学は右図の②、文化系列の選択者に多かった医療系進学は、ひとと福祉系列に所属し、自由選択科目で進学対応科目を選択する③のパターンを選べば良いです。また、自由選択科目の中には、『観光英語』、『石見銀山ガイド』、『石見神楽』といった地域性を生かした科目も新設予定です。



そしてもう一つの大きな変更点としては、従来の『産業社会と人間』に加え『総合的な探究の時間』を柱としたキャリア教育や体験や地域連携を重視した活動の充実です。『総合的な探究の時間』は、1年次から3年次まで継続して学習し、「1年次には系列体験や自己課題の発見と解決を通して、探究学習の基本的スキルを身に付けます。2年次には地域社会の課題に目を向けながら、主体的な解決方法を探究し、進路実現に向け勤労観を養います。3年次には系列で学ぶ専門的な知識・技術を活用して、課題解決学習（課題研究等）を実践し、邇摩高フェアの企画・運営を通して、地域への貢献方法を探究していきます。」本校の中心となる科目となります。あわせて『邇摩高校魅力化コンソーシアム』を活用して地域関係機関との連携を強化し、地域課題解決や地域貢献に取り組むことで、地域と一体になって学校魅力化に取り組む『社会に開かれた教育課程』を推進していきます。

こうした学びを通し、①主体性（自ら学ぼうとする姿勢、質問や意見を発言する姿勢、自ら役割を担おうとする姿勢）②協働性（お互いを認め尊重し合う力、対話によって状況や取組をより良くしようとする力、組織や状況を認識し自分が何をすべきか判断する力）③探究性（課題や目標を設定する力、情報を収集・整理・分析する力、論理的にまとめて発表する力）④社会性（自己管理能力、コミュニケーション力、社会貢献意識）の資質・能力を育成していきます。そしてスクールミッションとして『人間性豊かで、将来の地域産業を担う職業人・社会人の育成』を目指していきます。